

ElySION セキュリティスキャナリレー インストールマニュアル

RR-1, 2, 3, 4 用

「セキュリティスキャナリレー」をご用命頂きまして、ありがとうございます。
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

2005/1 M相良

取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
 2. エアバックが標準装備されている為
センサーが活着している間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり
非常に危険を伴います。

※必ず BATTのマイナス端子を外し。3分以上待ってから作業して下さい。
 3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と
一緒の作業をお勧めします。
 4. 個人的にお分けする物です。製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、
いっさいありません。その分、お安いと言うことでご理解下さい。

※誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ
交換をいたしますので、ご連絡下さい。
 5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)
- ◎上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の
責任の範囲内とさせていただきます。
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。

リレーユニットの仕様

◎社外品のセキュリティオプションのLEDスキャナーをドアロックに連動させるためのユニットです。
次の条件でスキャナーへの電源供給を行います。（強制OFFスイッチ付き）

- ・キーOFF
- ・ドアロック

本ユニットは、動作開始後、動作終了後 共に消費電力は有りません。
スキャナそのものの電気消費だけです。

スキャナーは同梱しておりません。次の仕様で入手して下さい。

☆ 動作電源 +12V でLED表示がされる物
電源の接続のみで動作する物でOKです、特別なトリガ入力等は不要です。
(例) 加藤電気(株) ホーネット用
<http://www.kato-denki.com/option/lightflash/629t.html>

(注意) 国産のソーラータイプや自動タイプは使用できません。

内容の確認

1. ユニット本体。
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。
赤・黒・白・黄・茶 の5本の線が出ています。
白のコードにヒューズが付いています。 1Aです。
2. ワンタッチカプラ 2個

別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 2本
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合
電源取り出しKITが必要です。
※用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。
(10A用)
2. スキャナLEDユニット

必要な工具

1. マイナスドライバ (小)
・スキャナの接続に使用
2. プライヤー
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
3. 10mmソケットレンチ等
アースを取り付けるために使用

取り付け手順

1. ユニットの取り付け

- (1)ヒューズBOXより電源の取り出し
- (2)ボディアースへ接続

2. ドアロック信号への接続

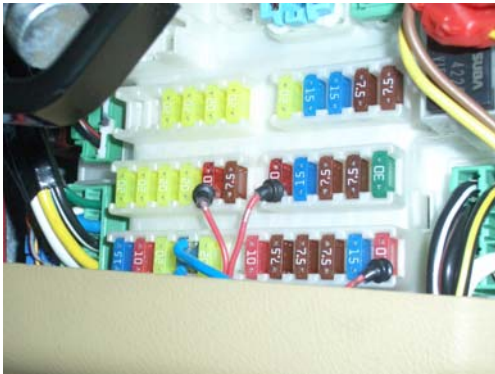
- (1)ヒューズBOX上部のコネクタへ2本(黄・茶)をワンタッチコネクタを使用して、接続します。

3. スキャナの設置

好きな位置へ設置します

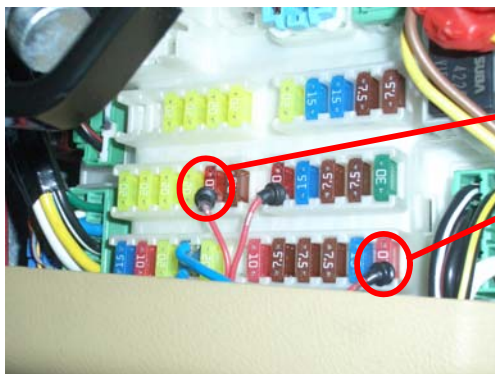
4. ユニットの格納

1. ユニットの取り付け



ヒューズBOXのカバーを取ります。

※ ヒューズBOXはアクセルペダル横です



ヒューズ電源取り出しKitを接続します。

No.17(空き) 常時+12V

No.12(7.5Aヒューズを抜く) ACC+12V



ヒューズ取り出しKitのギボシ端子へユニットの線を接続します。

白(ヒューズ付き) → No.17 常時+12V

赤 → No.12 ACC+12V

※既に取り出しされている場合は、ワンタッチカプラか二股を使用して接続します。



ハンドル下部のカバーをめくります。

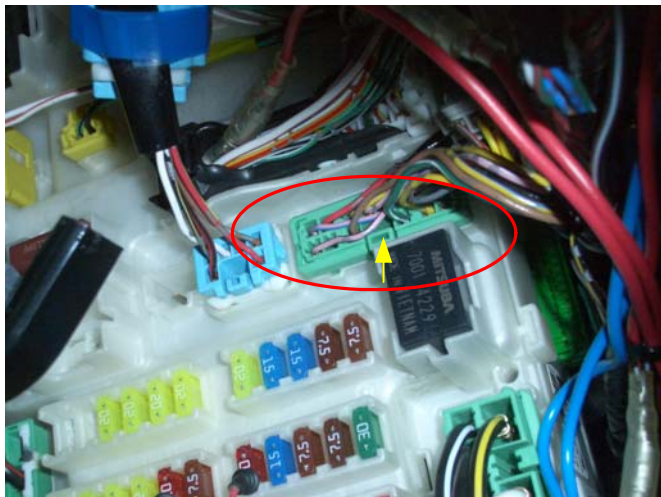


ペダル下のカーペットをめくります。

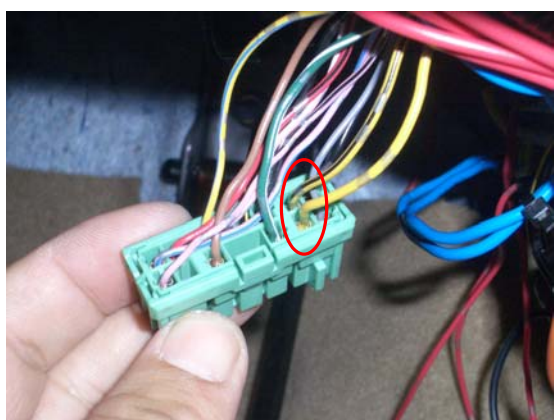


ハンドル下部のボルトに ユニットの黒線を接続します。(ボディアース)

2. ドアロック信号の接続



赤丸のコネクタを外します。
ツメ(黄部分)を矢印の方向に押しつけながら引き抜いて下さい。



ハーネス保護テープを剥がし、コードを露出させます
ドアロック信号は 赤丸の (黄/黒、黄)です。

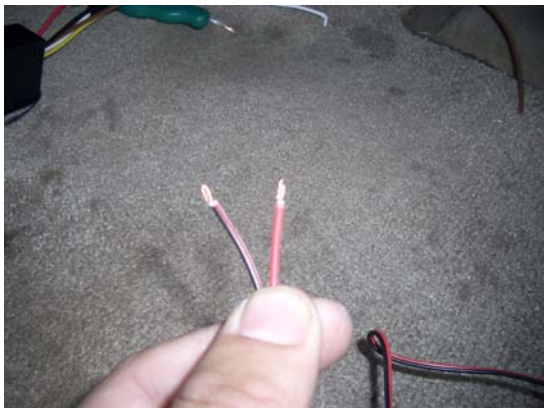


ユニットからの線をワンタッチカプラを使用して繋ぎます。

茶(ロック信号) → No.8 黄/黒
黄(アンロック信号) → No.2 黄

接続したらコネクタはヒューズBOXへ戻します。

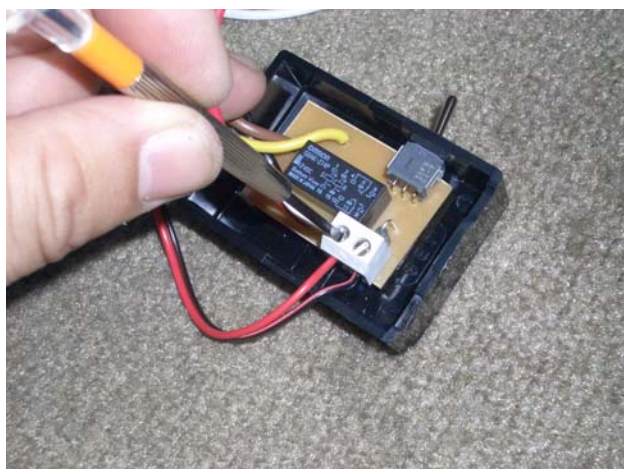
3. スキャナの設置



スキャナの接続準備をします。

スキャナの電源線(+、-)を接続のため
3mmほど心線を出します。

(※)出し過ぎはショートにつながりますので注意



スキャナの接続

ユニットのケースを開けると、2Pの端子板が見えます。
マイナスドライバーでスクリューを回すと、端子板の横
の接続穴が広がります。

この穴にスキャナの電源線を差し込み、スクリューで
固定します。

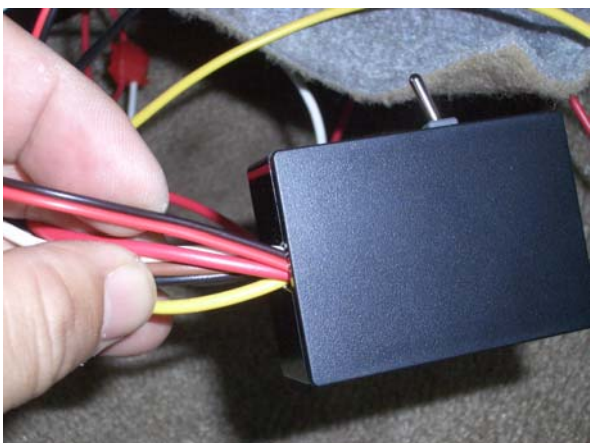
(注意)

+、- の極性に注意して下さい。

スキャナ動作状態の時、この端子に +12Vが出力
されます。

1: +12V 2: アース

スキャナ以外の用途にも利用できますが、1A程度まで
の利用でお勧めします。



ケースを閉じて接続は完了です。

上部のトグルSWは 不要時にスキャナを強制CUT出来
る用に成っています。
通常は ONで使用します。

不要時(消灯したい時) OFFにして下さい。

ここで動作確認をします。

キーをOFFにし、リモコンでドアロックすることで
スキャナが動作。
アンロックで停止すればOKです。

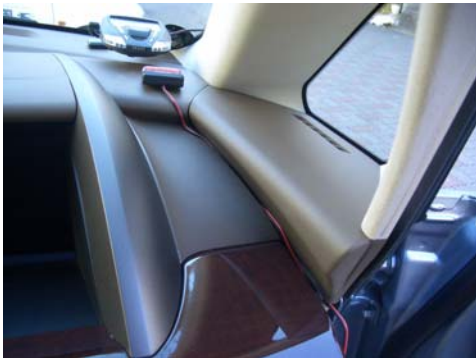
スマートキーについても同様に確認します。

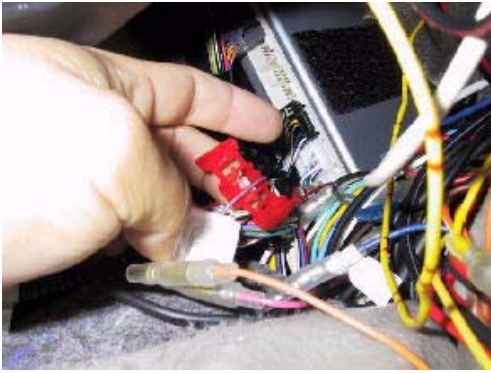
※うまく動かない場合

1. 配線を再確認
2. スキャナは壊れていませんか？
電源とアースに接続して動作の確認
3. ユニットのSWを確認 OFFの場合は点灯しません
4. ヒューズは飛んでいませんか？
5. 車両のBATTを外していませんか？

スキャナ設置例（フロントサイド）

1. ドアモールを剥がします
2. スキャナを設置し、配線を通します。
3. ユニットを納めます
燃料リッドレバーの上部辺りに丁度収まる隙間があります。
ここ以外にも SWの操作がし易い所なら何処でも可





ワンタッチカプラの使用例



ワンタッチカプラの使用法

・ワンタッチカプラは、配線の割り込みに使用します。

1. 溝が左右に切つてある方に、元の配線をかませます
2. プライヤーで、片側をかしめます。
3. 割り込ませる配線をもう一方にかませます。
4. しっかり、かしめて 完了。

※ 黄色の配線が、コネクタ側のハーネス
青の配線が ユニットの配線
に相当します。

※ 非常に手を入れずらい、狭いところでの作業になりますが
コードを斜めに挟んでしまったり、プライヤーで挟んで
しまったりなど、十分 注意しましょう。

※ ここで、元のハーネスを切断等してしまうと
走行不能になるおそれもあります。
十分、注意してください。